

令和6年12月1日（日）、3日（火）の計2日間、「東京都市計画道路 都市高速道路第1号線 都市計画変更素案―首都高速都心環状線（築地川区間）の更新―」に関する説明会を開催しました。

当該都市計画変更素案に関していただいた主なご質問とそれに対する回答について、以下に記載いたします。

Q 工事の時期、時間帯は。

A （首都高速道路株式会社）

2025年度に工事発注を予定しており、工事完了は2035年度を予定している。工事の時間帯は原則昼間を想定しているが、詳細については、工事受注者決定後に改めてご説明する。

Q 首都高速道路の拡幅により、区道の幅員はどうなるのか。

A （首都高速道路株式会社）

停車車両があっても緊急車両の通行の妨げにならないよう、車道の幅員は5.0m以上、歩道は有効幅員2.0m以上を確保することを基本として、道路管理者、交通管理者と協議・調整を行っている。

Q 全区間で蓋掛けが出来ない理由は。

A （首都高速道路株式会社）

蓋掛け区間が100mを超えるとトンネル非常用設備が必要になるが、当該区間ではその設備の設置空間を確保することが難しいため、100mを超えない範囲で蓋掛け区間を設定した。

Q 首都高出入口の利用形態は変わるのか。

A （首都高速道路株式会社）

銀座出入口については、工事完了後も現在と同様の形態でご利用いただける予定である。

Q 蓋掛け上部空間と区道との高低差についてどう考えているか。

A （中央区）

蓋掛けできない箇所については歩行者用通路を設置し、連続的に往来できる検討を実施しており、その歩行者通路をもって高低差の影響を軽減しようと考えている。また、蓋掛け部と既存橋りょうとの接続についても、バリアフリーの動線が確保できるよう検討を進めている。

Q KK線上部空間と合わせた蓋掛けの連続化を考えるべき。

A （中央区）

KK線廃止後も東銀座出口はそのまま使用することになっていることもあり、KK線と今回の蓋掛け箇所を物理的につなげることは難しいと考えているが、既存の区道を活用し、歩行者ネットワーク及びみどりの連続化を検討していく。